

令和6年度 第1回 鎌倉市国民健康保険運営協議会会議録

1 日 時 令和6年(2024年)5月23日(木)午後1時30分から2時30分
まで

2 場 所 鎌倉市役所第三分庁舎 講堂

3 出席委員

区 分	氏 名	出 欠
被保険者代表	友松 由紀子	出席
〃	内田 由紀	欠席
〃	中本 淳子	出席
〃	松村 俊樹	出席
〃	千代 美和子	出席
医療担当代表	山口 泰	出席
〃	倉岡 隆	出席
〃	島田 博	出席
〃	山内 由光	出席
〃	金林 茂	出席
公益代表	酒井 捷允	出席
〃	吉中 季子	欠席
〃	松宮 さきく	出席
〃	大久保 久美子	欠席
〃	笠間 玲子	出席
被用者保険等	阿部 美弥子	出席

以上 13名 (敬称略)

4 事務局 鷺尾健康福祉部長、正木保険年金課長、笛田課長補佐、
桐戸職員、長山職員

5 議事日程

(1) 令和6年度国民健康保険料の保険料率及び軽減措置について

(2) その他

6 会議の内容

(1) 会議概要

- ・ 開会（酒井会長）
- ・ 会長挨拶及び議事進行（酒井会長）
- ・ 本協議会の成立の報告（事務局）
- ・ 閉会（酒井会長）

(2) 議事概要

議題1 令和6年度国民健康保険料の保険料率及び軽減判定基準については、正木保険年金課長の説明の後、質疑に入った。概要は次のとおり。

松村委員 神奈川県が示す標準保険料率に近づけていくとのことであるが、所得割率と平等割は既に市の保険料率の方が高い水準になっており、下げることはないのか。

正木課長 これから先も保険料が上がってくるのが想定され、現時点で下げてしまうと、来年度以降に下げた分を上乗せする可能性がある。来年度以降負担が急激に増加することを抑えるためにも、昨年と同率にした。

松村委員 神奈川県が示す標準保険料率に近づけていくとのこと、各市町村の義務になっているのか。

正木課長 義務になっていないが、各市町村の目安になるものと考えている。

友松委員 資料2の②0歳～39歳 65歳～74歳（介護保険料負担なし）とあるが、65歳以上は介護保険料負担しているのではないか。

正木課長 国民健康保険料で介護分を徴収していないという意味である。

質疑終了後、議題1については、原案のとおり承認された。

議題2 その他では、マイナ保険証移行に係る現在の状況についての報告と今後の開催をオンライン会議と併用にするか意見を伺いたいことを説明した。

マイナ保険証移行については、主に下記の意見が上がった。

- ・マイナ保険証の未保持者等の把握方法等、未確定の要素がある中で、保険証廃止の時期に関する意見。
- ・マイナ保険証廃止に伴う、各種通知等の送付やシステム改修、人件費にかかる費用面の意見。
- ・マイナ保険証の紐づけ率が現時点で半分以下であるため、保険証廃止後の運用面の意見。
- ・マイナ保険証を保持していない人には資格確認書が発行されるのであれば、マイナ保険証の紐づけをしなくても良いのではといった意見。

オンライン開催について

対面での開催を基本とし、やむを得ない場合のみオンラインでの出席を可とすることを検討するが、オンライン開催に対する通信環境の不安が拭えないといった意見があったため、後日、委員長と事務局で協議した上で、改めて結論を出すこととした。

令和6年度第1回鎌倉市国民健康保険運営協議会は終了した。